

2004年度おしよろ丸日本海観測計画書

九州大学応用力学研究所
千手智晴

研究課題：

日本海深層における流動と海水混合に関する研究

目的：

日本海盆と大和海盆の間に存在する海底フロントの詳細な構造を把握するとともに、深層での直接測流を実施し、両海盆間の海水交換について検討する。

観測時期：

2004年10月26日～11月1日

同時期に実施予定の海洋生産システム学科の実習航海に合わせて実施する。

観測海域：

日本海東部海域（図1を参照）

観測内容：

CTD観測

- ・ 図1の7測点（Sta. 1～7）で、海底までのCTD観測を行う。
- ・ いくつかの測点では、ロゼット・マルチサンプラーを用いて、塩分検定、溶存酸素滴定用の採水を行う。

流速計の係留

- ・ Sta. 3で、流速計（AANDERAA）の係留（1系）を行う。
- ・ 流速計は3台を予定。（図2を参照）
- ・ 回収は2005年度の航海を予定。

乗員：

氏名	所属	職名	乗船期間
千手智晴	九州大学応用力学研究所	助教授	10/26～11/1
李 浚銖	九州大学大学院	D 2	10/26～11/1
鈴木洋平	九州大学大学院	M 1	10/26～11/1

観測点の位置と水深：（図1を参照）

Sta.	Lat.	Long	Depth
1	39-41.0	136-55.0	2500m
2	39-41.0	137-05.0	2530m
3	39-41.0	137-15.0	2550m
4	39-41.0	137-30.0	2800m
5	39-41.0	137-45.0	2600m
6	39-41.0	138-00.0	2550m
7	39-41.0	138-15.0	2500m

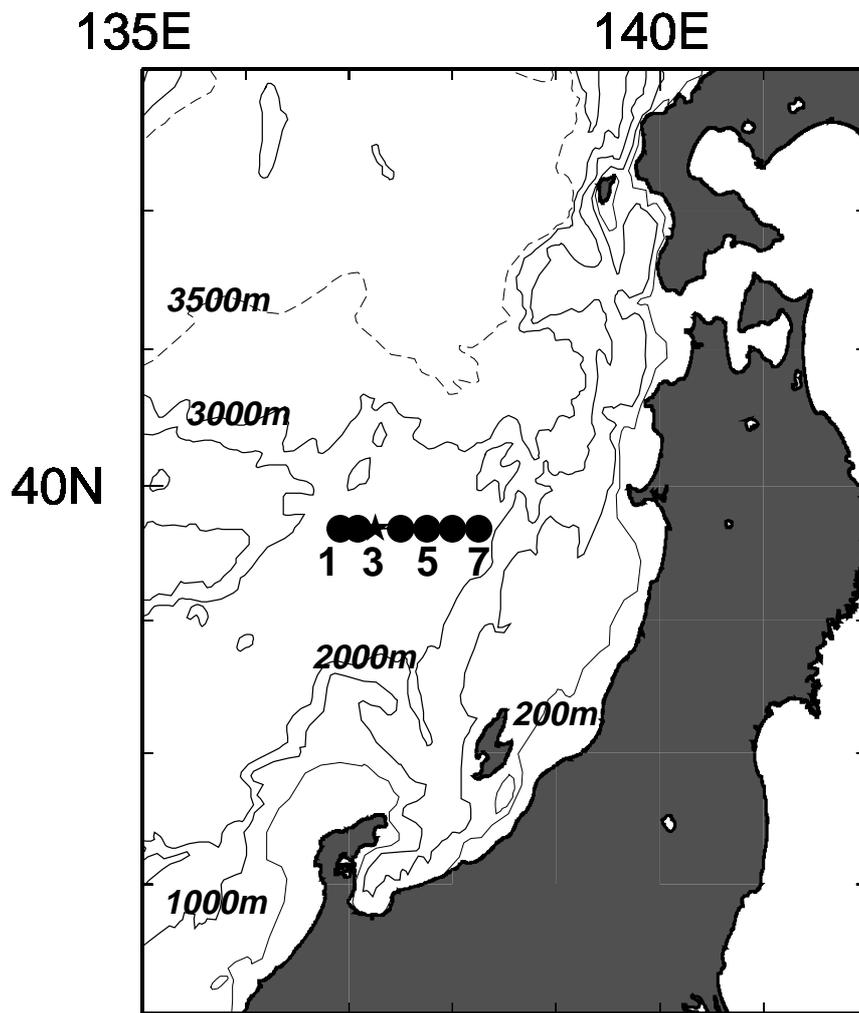


図1 観測点の位置

2004年度 日本海係留線（おしよろ丸）（水深2550m, 全長1580m）

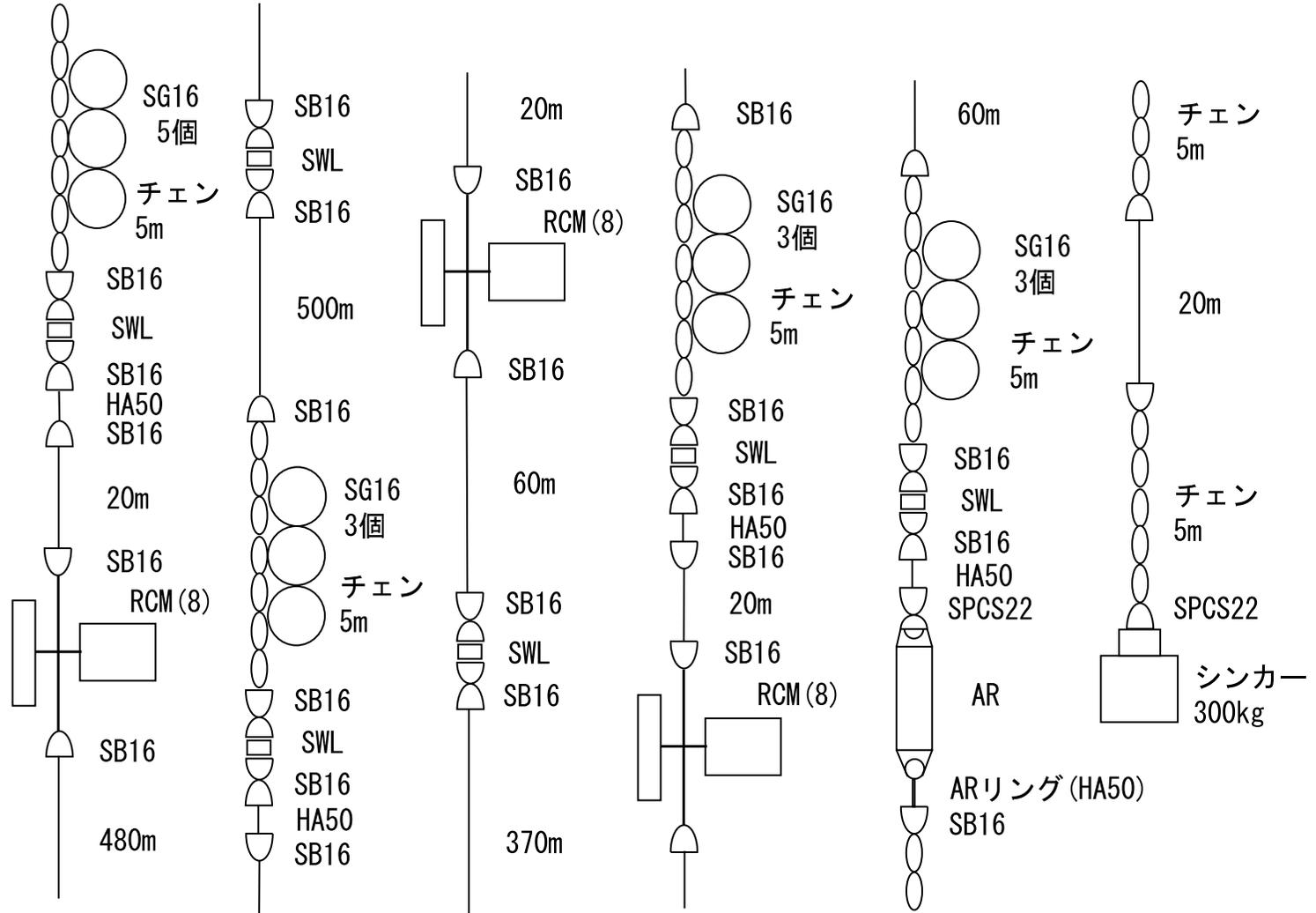


図 2 係留系設計図